

夕刊 新報 行發日二十二月七

季節の齒車

早崎夏衛

詩に就いて 詩人は、おのれを信じて、詩人が出た後、結局を詩として承

句帳から

飛石の向ふに墓の控えたる 朱庵 濡れし日除しつらひはつとしぬ 三碧

七月題詠

一、青 歌數隨意 締切七月二十五日

童魔物を食

阿部頼俊

「あのね、こゝれね、く……首なし……」 『まあお兄ちゃん、それ

失業の唄 大竹秋平 俺はのんだくれの馬鹿野郎

高橋是清 (72) 松浦泉三郎作 佐々木今朝吉編 あそびの味 (二)



江戶の昔から有数の料亭 二階の廣間に通され、越前

浪江客舎 珠露 小野務平 雨餘景物自融口 雅客去來西又東

△江戶城竣工 (慶長 一) △丸橋忠彌補 三 (慶安四) △鄭成功

「お兄ちゃん、泣かないで 見せろぞ」と、お兄ちゃん、私に

「お兄ちゃん、泣かないで 見せろぞ」と、お兄ちゃん、私に

難波醫院 内科 小児科 入院 自炊の便あり

勉強ノ店 建築用品 床柱 天井板 ベニア板

安齊醫院 入院隨意 外科 内臓外科 院長 安齊 徹

水村外科醫院 平町六丁目 (橋際) 電話三〇九

桑原柔道整骨院 平町公園下 電話六七四

耳鼻咽喉科 高柳醫院 醫學博士 高柳博明

耳鼻咽喉科 山内醫院 醫學士 山内亨吉

信用堂洋服店 平町三丁目 電話六一三

久野電機 電話七二二番

婦人 清凉着、カタン服特賣

北川外科 平町新川町 (諸橋醫院) 醫學博士 北川 芳夫

大至急 會員募集 上原家政婦會 平町細屋町 電話二二番

自轉車・リヤカー 品質本位と正直な値段 フタバ商會 平・新川町郵便局前

夏ノサロ 男給の店 平・田町・電話三五二

耳鼻咽喉科 山内醫院 醫學士 山内亨吉

耳鼻咽喉科 高柳醫院 醫學博士 高柳博明

信用堂洋服店 平町三丁目 電話六一三

久野電機 電話七二二番

婦人 清凉着、カタン服特賣

信用堂洋服店 平町三丁目 電話六一三

灼熱の夏に 夜の店頭を整頓して 散歩に邪魔をすな 町の緑地帯を尊重せよ

池畔で仕掛煙火 螢光納涼會近づくと

米價 米價 米價

ラヂオ体操講習會 第三小學校で

小名濱上水 道補助決定

植田驛改築 昭和八年

水泳部粒選りの顔ぶれ

植田驛改築 昭和八年

火事講習會 愛宕山荘で

便利経済御法度? 巻煙草製造器を賣つた

社告 植田支局通信員

警城新聞社 各位

常磐線に箱師出 旅行客御用心の事

博徒亂闘の巨魁 豫審決定公判へ

世の中は厭だ 自殺一歩前捕れた

病弱職工の置手紙 茨城縣島郡白鳥村生れ

狂女の母性愛 子供の名を呼び

万年堰管理 警務村

三井タタシ 電話六八五番

木村電気商會 電話一七九番

開業参拾周年記念 謝恩デー

球ナフタリン進呈

御禮 生ビール發賣以來連夜豫定の樽数を

平町にゐる 平會館

博徒亂闘の巨魁 豫審決定公判へ

世の中は厭だ 自殺一歩前捕れた

病弱職工の置手紙 茨城縣島郡白鳥村生れ

常磐線に箱師出 旅行客御用心の事

ラヂオ体操講習會 第三小學校で

小名濱上水 道補助決定

植田驛改築 昭和八年

水泳部粒選りの顔ぶれ

三井タタシ 電話六八五番

木村電気商會 電話一七九番

開業参拾周年記念 謝恩デー

球ナフタリン進呈

御禮 生ビール發賣以來連夜豫定の樽数を

平町にゐる 平會館

博徒亂闘の巨魁 豫審決定公判へ

世の中は厭だ 自殺一歩前捕れた

二十三日

日四三

日四三

日四三

日四三

日四三

日四三

日四三